

文書館通信

13号

東御市文書館
令和4年
5月 発行



☎ 文書館直通 0268-67-3312

東御市教育委員会文化財係直通 0268-75-2717

📧 メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp

5月はこどもの日にちなんで、子どもに関する古文書をご紹介します。

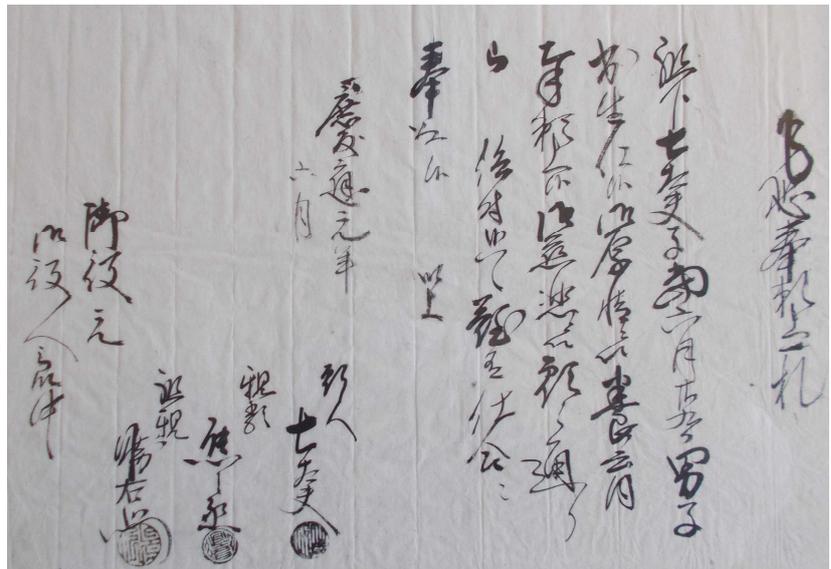
よう いく お てあて もみ ねがい きたみまき しものじょうむら しょうやわたなへ付

【養育御手当粉願】この写真は、北御牧の下之城村庄屋渡邊家に残されていた、子どもが産まれた時の養育
ねがいじょう たわら
手当願状です。願いが出された家庭には、粉俵が1俵ずつ支給されています。願状は安政5年（1858）から
つ
明治5年（1872）の25通が残されていました。

上
養育願
丑七月七日 勝右衛門 持参済
七太夫



包紙



渡邊家文書 目録No.2779

乍恐奉頼上一札

組下七太夫子、当六月廿九日、男子

出生仕候、御厚情ヲ以、養育

奉頼上候、御慈悲ヲ以、願之通り

仰付候ハ、難有仕合ニ

奉存候 以上

慶應元年 願人

六月 七太夫 (印)

親類 熊之丞 (印)

組頭 勝右衛門 (印)

御役元

御役人衆中

恐れながら頼み上げ奉る一札

組下七太夫子、当六月二十九日、男子

出生仕り候、御厚情を以て、養育

頼み上げ奉り候、御慈悲を以て願いの通り

仰せ付けられ候らわば、有難き仕合せに

存じ奉り候 以上

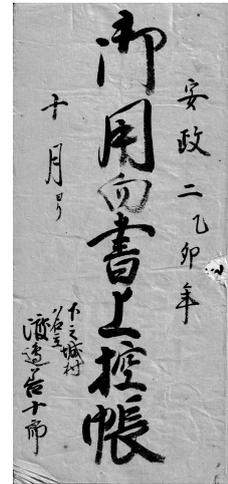
◆名主日記に残る【養育御手当糶願の記録】

渡辺家文書には、役所日記・役用日記・御用日記・公私日記など、村の様子が判る日記類が58冊あり、これらの史料中に34件の養育御手当糶願の記録があります。一番古い記録は弘化四年（1847）で、

「藤沢村（現立科町）に、^{たてしなまち}村役人清四郎の立会で御蔵（^{おくら}郷蔵）から^{ごうぐら}壱俵渡した」【目録No.2501】と書かれています。覚書の写しより、百姓から名主や村宛に「願」が出されると、名主から小諸藩の役人宛に願状が改めて出されていたことから、小諸藩の施策であったと考えられます。

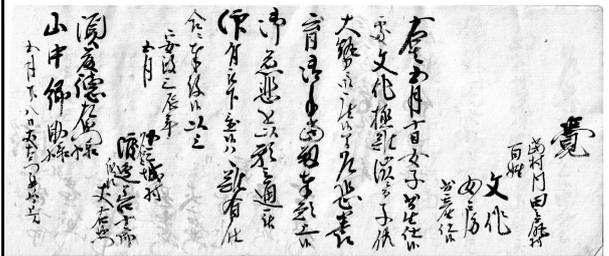


【養育御手当糶願の記録が書かれた日記類】



渡辺家文書目録No.2587 表題

右は五月十日女子出生仕り候
 処、文作極難渋にて、子供
 大勢に御座候間、恐れながら養
 育御手当糶、願い上げ奉り候、
 ご慈悲を以て、願の通り仰せ付
 けられ、下し置かれ候わば、有
 難き仕合せに存じ奉り候、以上
 安政三辰年
 下之城村
 名主 渡辺善十郎
 組頭 丈右衛門
 須藤徳左衛門様
 山中郷助様



渡辺家文書目録No.2587

【文書館展示ご案内コーナー】

東御市の指定文化財になっている土偶です。



(正面)



(右側面)

考古資料 土偶土製品No.208 高さ9.4cm

ふるやしきいせき みはり
 古屋敷遺跡(新張)SB04住居址出土
 の「筒形(つつがた)土偶」です。

東御市では、200点以上の土偶が出土
 していますが、この筒型をした土偶は全国
 でも数少ないタイプです。

現在、文書館資料展示室で常設展示して
 います。